

申込
期間

令和6年
6月1日(土)~
7月20日(土)

令和六年度 講座

「丹波学」

明智光秀とその時代
~光秀の足跡と丹波の城郭~

会場 丹波の森公苑 ホール

定員 150名

受講料 6,000円(講義録付)

●お申し込み方法

下記、申込用紙に必要事項を記入の上、ご持参いただくか、郵送またはファックスでお申し込みください。

また、お申し込みフォーム(左下のQRコードにアクセス)からもお申し込みいただけます。

電話での受付はしていません。

※申込から2週間程度で受講決定通知と振込用紙を郵送します。

受講申込フォーム ▶



●問い合わせ先

丹波の森公苑 事業推進部 文化振興課
講座「丹波学」係

〒669-3309

兵庫県丹波市柏原町柏原5600

電話番号：0795-72-5170

ファックス：0795-72-0899



主催：(公財)兵庫丹波の森協会 丹波の森公苑

令和6年度 講座「丹波学」受講申込書

令和6年 月 日

氏名		ふりがな	
住所	〒 -		
電話番号	() -	FAX	() -

※ご記入いただいた個人情報は厳重に管理し、当事業のみで使用します。

令和6年度 講座「丹波学」 講義日程・講師紹介

第1回 8/24(土) 14:00~ 15:30	「中世丹波の市場と城 — 丹波における都市の成立 — 城郭談話会 会員 福島 克彦 氏 兵庫県生まれ。立命館大学文学部史学科西洋史学専攻卒業。現在、大山崎町歴史資料館館長。専門は日本中世都市史、城郭史。 主な著書に、『畿内・近国の戦国合戦』(吉川弘文館)、『明智光秀と近江・丹波分国支配から「本能寺の変」へ』(サンライズ出版)、『明智光秀 織田政権の司令塔』(中央公論新社)など。
第2回 9/14(土) 14:00~ 15:30	「明智光秀亡き後の丹波支配の様相」 株式会社歴史と文化の研究所 代表取締役 渡邊 大門 氏 神奈川県生まれ。関西学院大学文学部卒業。佛教大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士(文学)。現在、株式会社歴史と文化の研究所代表取締役。専門は、日本中近世政治史。 主な著書に、『戦国期赤松氏の研究』(岩田書院)、『戦国期浦上氏・宇喜多氏と地域権力』(岩田書院)、『赤松氏五代』(ミネルヴァ書房)、『戦国・織豊期 赤松氏の権力構造』(岩田書院)、『編集 赤松氏・宇喜多氏の研究』(編著・歴史と文化の研究所)、『豊臣五奉行と家康 関ヶ原合戦をめぐる権力闘争』(柏書房) など。
第3回 10/12(土) 14:00~ 15:30	「戦国期丹波国をめぐる通貨事情と伊勢御師の廻檀 — 『丹波御祓之日記』の分析を中心に — 中京大学大学院等非常勤講師 千枝 大志 氏 栃木県生まれ。皇學館大学大学院文学研究科博士後期課程国史学専攻単位取得満期退学。中京大学文学部学芸員兼オープンカレッジ講師、同朋大学仏教文化研究所所員などを経て現在は、中京大学大学院・中京大学・三重短期大学の非常勤講師と同朋大学仏教文化研究所客員所員。博士(文学)。専攻は歴史学(中近世の都市史・社会経済史・地域通貨史・宗教社会史)・博物館学・アーカイブズ学。 主な著作として、単著に『中近世伊勢神宮地域の貨幣と商業組織』(岩田書院)、編著書に『これであなたも歴史探偵! : 歴史資料調査入門』(風媒社)、『街道今昔 三重の街道をゆく』(風媒社)など。
第4回 11/24(土) 14:00~ 15:30	「丹波で今でも見られる光秀の時代とその後の拠点 — 金山城・岩尾城・柏原陣屋跡 — 丹波市教育委員会 社会教育・文化財課 学芸員 西岡 真理 氏 大阪府生まれ。天理大学文学部歴史文化学科考古学・民俗学専攻卒業。大阪府文化財センターで山城調査に携わる。その後、三重・松坂市文化財センターで嘱託職員として勤務。現在は、丹波市教育委員会社会教育・文化財課学芸員。 主な著書に、『立野古墳群発掘調査報告』(松阪市)、『黒井城と岩尾城の瓦について』(郵政考古紀要第77冊)。
第5回 12/14(土) 14:00~ 15:30	「近江時代の明智光秀 — 信長仕官前と坂本城主としての姿 — 淡海歴史文化研究所 所長 太田 浩司 氏 東京都生まれ。明治大学大学院文学研究科(史学専攻)博士前期(修士)課程修了。長浜市長浜城歴史博物館学芸員を経て同博物館館長を務めた。現在は、長浜市曳山博物館館長などを務める。専門は、日本中世史・近世史。 主な著書に、『近江が生んだ知将 石田三成』(サンライズ出版)、『浅井長政と姉川合戦 : その繁栄と滅亡への軌跡』(サンライズ出版)、『湖の城・舟・湊』(サンライズ出版)など。